

外部評価  
実施日 令和6年 5月 7日

(別紙2-4)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	博愛福祉会	代表者	大西弘文	法人・事業所の 特徴	通所・泊まり・訪問を上手く組み合わせながら、利用者様の生活に寄り添った支援を目指し、安心・安全な生活空間を提供いたしており、自立支援に向け取り組んでいます。
事業所名	ゆとり庵西神吉	管理者	波多野敬太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>長く施設で働いてもらえるよう、休憩・休みがしっかりとれるよう職場環境の改善を行う。</li> <li>情報伝達をしっかりと行い職員間の馴れ合いを防ぐ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休憩時間の確保、有給の取得を行い私用・ライフイベントに希望通り休みが取れるよう調整を行った。</li> <li>情報の伝達がスムーズには行えていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員、ご利用者が安心して仕事・サービス利用できるようにするためにも情報の伝達は重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価で出た改善しなければならない項目をまとめ話し合う。意見交換、改善策を考えながら事業所全体で共通の認識を持ち、より良いサービスに繋げていく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの状況を見ながら面会の再開。コロナ対応の変更があった際は、その都度更新し、ご利用者・ご家族へ案内を行う。</li> <li>施設内外の環境整備を行い、気軽に訪問しやすい開けた事業所にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5類となり、ご利用者のご家族や友人、町内の方が施設へ面会に来られる機会が増え、ゆっくりお話が出来るように居室のスペースに案内をして過ごしていた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所を訪れる機会はなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化に伴い、事業所の修繕が必要。事業所を訪れる全ての方にとって安全で清潔感のある、居心地の良い事業所作りする。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事へ積極的に参加し、施設の存在を地域の方に認知される事で気軽に訪れられる事業所となるよう関わりを増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事への参加を行う。以前に比べ地域との交流は生まれつつあるので、このような機会を増やして行きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の高齢化で参加者が減少するなか町内会の世代間交流に参加していただき助かりました。大変好評でした。今後も継続していただければと期待しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事への参加の継続、と機会を増やしていく。</li> </ul>
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者の今までの習慣を大切に、継続していけるよう地域の資源を活用しながら在宅での生活を支える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前の習慣を変わず継続できるように外出支援を行っている。</li> <li>一部のご利用者に限られてしまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その方に合ったサービスを提供できるのが小規模の良さでもあるので、以前と同じような生活が出来るのはご利用者にとって嬉しいこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅と施設の往復だけではなく、地域との関わり、近隣との関わりを大切にサービスの提供が出来るように支援していく</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面での開催も増加してくるので、施設の取り組みを広めて施設の特色を知っていただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面での開催を行っていく事が出来ているが、事業所ならではの取り組み・特色を活かしたものを発信できていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議を通して、事業所の取り組みを知ることが出来ているが、会議を活かした取り組みといった所までは至っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議へご利用者・ご家族等に参加していただく</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して消火・避難訓練を行う。</li> <li>大規模災害に備えて必需品の整備・補充を行い、ご利用者・職員の安全を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の訓練の実施。</li> <li>大規模災害に備えての必需品の整備・補充は不十分な部分があり、何ほどの程度必要なのかを話し合う期間が足りていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時、地域との協力関係が大切なので、地域と合同で訓練をしている所もある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防・避難訓練を年2回実施。</li> <li>大規模災害を想定しての避難場所までの経路確認等のシミュレーションを行っている。</li> </ul>